

3. 基本的診察への対応 歯科診療補助についてのチェアのポジ
ショニングと、器具の受け渡し



3. 基本的診察への対応 歯科診療補助についてのチェアへのポジ

ショニングと、器具の受け渡し

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 患者にこれから行うことの説明ができる
- ・ 患者の主訴・現病歴・既往歴等、診療にあたって必要な情報を把握できる
- ・ 排唾やライトが眩しくないか等、患者が不快にならないような診療ができる
- ・ 患者の口腔内を的確かつ確実に診査できる
- ・ 歯科器具の把持法等、扱いが正しくできる
- ・ プロービング時の圧は的確である
- ・ 診査の際、必要に応じて口腔粘膜や舌の圧排が行える
- ・ 診査の終了後、本日の診療内容と次回の診療予定内容を患者に的確に伝えられる
- ・ 診療終了後の片付けができる

<設定場面>

30代女性患者が初診で来院し、右下4のう蝕による自発痛を主訴に来院した。同部の加療と口腔内全体の精査・加療も併せて希望している。

<治療手順>

1. 診査前準備 必要器材：基本セット(デンタルミラー、ピンセット、探針)

歯科医師：衛生士に診査前の準備を指示する。

助手：患者の見えるところで器材を準備する。

衛生士(助手)；ブラケット上に基本セットを置き、照明の焦点を口腔内になるように調節する。

衛生士：患者に口腔内を洗浄する旨を伝え、口腔内をスリーウェイシリンジで洗浄し、バキュームで吸引する。

患者：口腔内の不快感を訴える。

衛生士(助手)：診療用具を採りやすいように配列して術者に声を掛ける。

2. 術者の診査 必要器材：基本セット(デンタルミラー、ピンセット、探針)

(1) 問診

衛生士：報告のあった資料に基づき、主訴や現症・既往歴などを確認する
また、全身疾患についても把握する。

患者：本日の診療内容に関して、不安を訴える。

(2) 口腔内診査 必要器材：ポケットプローブ、歯周チャート

歯科医師：衛生士に口腔内診査を指示する。

①歯を対象とした診査

衛生士：口腔内診査を視診・触診・打診などで行い、歯の形態、色調、着色、う蝕および歯周組織の発赤、腫脹、ポケット、出血・排膿、動揺度などを診査する。

衛生士：軟組織については視診、触診を行う。

衛生士(助手)：歯の状態を指示の通りに記載する。

②歯周組織を対象とした診査

衛生士：ポケットプローブで、歯周組織の診査を行う。

(3) コンタクト状態の診査 必要器材：コンタクトゲージ、コンタクトゲージホルダー、デンタルフロス

衛生士：歯の接触状態の診査をコンタクトゲージ、デンタルフロスを使って行う。診査の際には視野の確保のために口角の牽引を行う。

衛生士(助手)：診査の内容を指示に従って記載する

(4) 咬合状態の診査 必要器材：咬合紙、咬合紙ホルダー

衛生士：咬合紙を用いて咬合状態を診査する。

衛生士：すべての口腔内診査が終了した旨とその内容を歯科医師に伝える。

3. 診療終了後の患者の誘導と帰宅手続き

歯科医師：本日の診療の終了を衛生士に指示する。

衛生士：術後の注意や症状の説明、次回の処置内容の説明をして、次回の約束をする。

助手：会計を行う。

4. 診療終了後の片付け 必要器材：消毒用アルコール

衛生士(助手)：使用した器具の片付けを行う。滅菌するもの・消毒するものに分け、ディスポーザブルのものは破棄する。また、術者・患者が使用したチェアーはアルコール拭きする。

5. 資料の検討

歯科医師：エックス線フィルム・スタディモデルなどを検討し、正確な診断を行い、診療計画を作る

3. 基本的診察の対応 歯科診療補助についてのチェアへのポジショニングと、器具の受け渡し

必要器材

- ① 基本セット（デンタルミラー、ピンセット、探針） ② ポケットプローブ
- ③ 歯周チャート ④ コンタクトゲージ ⑤ コンタクトゲージホルダー ⑥ デンタルフロス ⑦ 咬合紙 ⑧ 咬合紙ホルダー ⑨ 消毒用アルコール

